

子どもの情報モラルを育むために

クロームブックを活用し、学校以外の場所や家庭でも学習ができるようになりました。

『いつでも、どこでも、いろいろな人とつながりながら、たくさんの情報を活用する』ということが容易になり、これまでとは比較にならないほど、子どもたちの学習が充実してきております。

しかし、インターネットを利用した学習は、よい面だけではなく、危険もあります。子どもたちに安心安全な学びを保障する上で、情報モラルは今後ますます大切になってまいります。そこで、学校と家庭が一体となり子どもたちに「情報モラル」を育てていくことが求められます。学校で学ぶ情報モラル教育の内容をご家庭と共有し、一緒に育てていくことが大切です。

家庭で育てていただきたい情報モラルの視点とそのポイントを以下にお示しします。夏休み期間等を利用して、お子様と話をされてみてはいかがでしょうか。



健康への影響

○長時間の使用は体に悪影響を及ぼします。また、ネット依存を引き起こすこともあります。“健康面を意識して使用できる力”を育みましょう。

ルールやマナー

・インターネット上に友達の悪口や嫌がることを載せない
・画像や動画をアップロード(※①)することで相手を傷つけることがある
・SNS への書き込みがいじめにつながることもある、
など、“ルールやマナーを守って使用できる力”を育みましょう。

情報の危険性

○情報の中には、悪意のある情報や不正確な情報があります。知り得た情報が正しいものかどうか“情報の正誤・適否等を判断できる力”を育みましょう。

情報の大切さ

○アカウントやID、パスワードなどは、他人に知られないようにすることが重要です。また、自分の情報だけでなく相手の情報もとても大切な情報です。“情報の大切さを理解し、情報管理がしっかりできる力”を育みましょう。

※①アップロード…パソコンやスマートフォンなどから SNS 等にファイルを送信すること

☆ 子どもと話し合っってルール作りを!! ☆

保護者が一方的に決めたルールでは長続きしません。だからといって子どもの言いなりのままでは、ルールといえません。お互いが主張し合い、少しずつ妥協し合っって決めたルールは、子ども自身の実践意識を高め、長続きします。双方が納得できるルールを作りましょう。



ルールが守れなかったときや、子どもの成長を感じたときは、ルールの見直しをすることが重要です。